

北海道議会議員(手稲区) すだ靖子後援会ニュース

発行所
すだ靖子事務所
TEL 691-8585
札幌手稲区手稲本町
2-2-2-12
発行責任者
林 武 司

お気軽にお立ち寄りください

すだ靖子連合後援会

〒006-002札幌市手稲区手稲本町2-2-2-12

☎ 011-691-8585

FAX-011-691-8586

改革を前に進めるか 古い政治に戻るのか

野田首相 手稲駅前で演説

第46回衆議院議員選挙は私たちの生活や雇用だけでなく、日本の未来像をも左右する重大な政治決戦。

野田首相は12月1日、鉢呂衆議院議員の応援のため、手稲区を訪れ手稲駅前街頭演説を行った。

野田首相は、我が党は2030年代に原発稼働ゼロを目指す。自民党は10年間たちどまって(原発政策を)考える。そうだ。脱原発か、続原発か、この違いを理解いただきたい。また、一人が一人を支える時代になる。年金・介護・医療を安心できるものにしてゆくと述べ、税と社会保障の一体改革への理解を求めた。



今衆院選では、改革を前に進めることができるか、しがらみだらけの古い政治に後戻りするのか、が問われる戦いだと言えた。



鉢呂議員は、私たちは野田内閣を先頭に「日本再生戦略」で掲げている①グリーン(革新的エネルギー・環境社会)②ライフ(世界最高水準の医療・福祉)③農林漁業再生(6次産業化による地域活力倍増)④中小企業戦略の取り組みを強力に推進し、8月に着工した北海道新幹線延伸や北海道横断道等のインフラ整備と相まって、地域の中長期にわたる発展に全力で取り組んでいきます。これからの正念場、よろしく支援のほどお願いしますと訴えた。

鉢呂さんを、今一度ご支援を 朝街宣で支援を訴える

すだ靖子道議会議員も、朝街宣で、通勤者に民主党の政策や民主党政権が実現させてきた政策を訴えた。



民主党に様々な批判もありますが、政権が変わったことで、①高校授業料の無償化②子ども手当を経て新児童手当を創設③待機児童解消へ保育所等拡充、定員増を実現するなど今までの政権与党でできなかったことが実現されてきたのだが、マスコミは、なにもできなかったことだけをクローズアップし、やってきた実績は報道されない。ぜひ、皆さんの力を、鉢呂さんを今一度、ご支援

くださいと呼びかけた。